

# 議会モニター紹介&募集のお知らせ

去る30年11月8日、議会モニターの方々への委嘱状交付が行われました。市議会では「分かりやすい議会」「市民に近い議会」をめざすため、滝沢市議会基本条例の規定に基づき、議会モニターを設置しています。

議会モニターは、議会に対し議会運営に関する意見や改善提言等を行います。具体的な内容は次の通りです。

- (1) 議長が依頼した市議会の運営に関する調査に回答すること。
- (2) モニター会議（モニター同士や議員との意見交換など）に出席すること。
- (3) その他議長が必要と認めたこと。

## 滝沢市議会議会モニター名簿

氏名	性別
1 佐藤 正和	男
2 白澤 仁	男
3 高橋 敏彦	男
4 竹鼻 則雄	男
5 太田 晴輝	男
6 照井 カツエ	女
7 深見 泰輔	男
8 宮林 恵	女
9 中村 ひとみ	女
10 高橋 真樹	女
11 太田 智春	女
12 岩根 和子	女
13 勝田 房子	女
14 武田 吉文	男

議会モニターは、応募いただいた方の中から地域性や年代等を踏まえて選考し、議長が委嘱します。市議会では引き続き議会モニターを募集しています。詳細については、議会事務局までお問い合わせください。



▲モニター会議



▲議場見学

# ズバリ一言!! (30年9月会議)

傍聴に来ていただいた皆さんからお寄せいただいたご意見を紹介します。

受付日	意見の内容	回答
H30.9.28	滝沢市議会には「議会基本条例」があると思います。改めて条例を再度熟読し、市民の代表である議員のみなさんは、地域の代表でありながらも、常に市全体の議員であることを認識して、市の維持発展、また市民の幸せに繋がる、議会、議会活動となるよう期待しています。 併せて、議員と事務局職員が連携して、市民全体の福祉向上に繋がる、なにかしらの政策提言に、ぜひチャレンジしていただきたい。	議会基本条例で規定している「議会」及び「議員」の活動原則を、改めて議員間で共有し、今後も活動してまいります。 また、その活動の原則を具現化するためにも現在、市民の意見も踏まえて課題を捉え調査を行う、議会としてどのような提言を行政にしていけるかの仕組みづくりを進めております。 これからの議会のあるべき姿を議員と事務局が共に議論・共有し、それぞれの役割を果たし市民福祉の向上に努めてまいります。

## ～用語解説～

# 「第一次滝沢市総合計画」とは?

「総合計画」とは、自治体における政策等を定める上で最も基本となる計画で、全ての政策、事業等はこの総合計画に基づいて決定されます。

平成23年の地方自治法の改正により策定義務は廃止されましたが、本市では、滝沢市自治基本条例に基づき「住民自治日本一をめざす地域社会計画」として「第一次滝沢市総合計画」を策定しました。

現在の「第一次滝沢市総合計画」は、平成27年度から34年度までの8年間の計画で、4年ごとに基本計画（実行計画）等を見直すこととしています。

平成30年度は「第一次滝沢市総合計画」の前期基本計画が終了する年であり、平成31年度から34年度までの4年間の計画を「第一次滝沢市総合計画後期基本計画」と呼び、現在策定が進められています。

# 一般質問 《12月会議》



**Q** 2030年問題に対する市の高齢者福祉施策の内容は

**A** 一人一人が輝き健やかで笑顔あふれるまちをつくりたい

**問** 2030年問題に対する本市の高齢者福祉施策の主な内容は

**答** 滝沢市総合計画で「一人一人が輝き健やかで笑顔あふれるまちをつくりたい」を掲げています。特に、地域包括ケアを深化・推進させるための施策として、認知症施策の推進や一般介護予防事業を重点施策と位置付けています。

**問** 高齢化社会に際し、各地域の郵便局等で住民票の取得ができるようにする考えは

**答** 市民ニーズや費用対効果などを踏まえ、地域性や将来の交通事情などを勘案し、各証明書の交付について検討します。

**問** 高齢者の社会参加の促進と居場所づくりに対する市の対応は

**答** 睦大学や老人クラブの活動を支援するともに、いきいきサロンなどを開催しています。

**問** 孤独死防止対策及び高齢者に対する地域包括支援センターの役割は

**答** 孤独死防止対策は、幹線、通学路等も考慮し除雪を実施します。

**問** 2030年問題に対する市の高齢者福祉施策の内容は

**答** 一人一人が輝き健やかで笑顔あふれるまちをつくりたい



**Q** 生活道路である私道への支援策補助率等の見直しは

**A** 見直しまでは至っていません

**問** 以前に一般質問した生活道路である私道の整備への支援策・補助率等の充実に対し、「工種等の簡素化等を含めた見直し」について検討します

**答** 私道等整備事業補助金要綱の見直しに関し、他自治体の例を聞き取りするなど検討してきましたが、現状では要綱の改正には至っていません。今後も工事種別等を引き続き検討します。

**問** 更に以前、一般質問に対する答弁の「地域の皆さんとの話し合いや土地改良区との協議を継続しながら市ができる支援策」について検討します

**答** 道路の所有者である土地改良区と継続して協議を進めていますが、新たな支援策の整備には至っていません。

**問** 現在の認定基準には該当しないが、認定道路と同等の生活道路である私道の認定は

**答** 既に認定されている市道の中には、現行の認定基準整備前に認定された現行の基準に合致しない幅員の狭い道路も存在します。

**問** 既に認定されている市道の中には、現行の認定基準整備前に認定された現行の基準に合致しない幅員の狭い道路も存在します。

**答** 既に認定されている市道の中には、現行の認定基準整備前に認定された現行の基準に合致しない幅員の狭い道路も存在します。



**Q** 小岩井駅活性化事業の整備計画は

**A** 歩行空間の確保等安心して利用できるよう検討しています

**問** 今年度の調査に基づきJR小岩井駅の活用在り方及び整備の方向性をどのように位置付け、整備を計画しているのか

**答** 詳細設計では、児童生徒の歩行空間の確保や送迎時の安全確保など安心して利用できるような検討をしています。トイレ改築は駅前広場整備後の着手に向け、JRと協議を進めます。

**問** JR小岩井駅は交通結節点として位置付けており、駅前広場の整備を契機に

**答** 鉄道・バスなどの公共交通の利用促進が図られるよう取り組みます。

**問** 救急医療情報キット配布事業の現状と課題、今後の改善点は

**答** 今までに累計3768本の配布で、年間数件ほど活用され、救急時にほぐる適切な医療活動に役立つと見えています。キットは定期的な医療情報の更新や決められた場所所に正しく設置することの周知が課題です。介護支援専門員等を通じて

**問** 適切な利用について引き続き支援の協力をお願いしていきます

**問** 本市の風疹対策は

**答** 風疹に関する情報提供と合わせ、抗体検査についてホームページ等で周知を図ります。

**問** また、予防接種に関しては厚労省が39歳56歳までの男性を対象に、31年度から3年間、全国で原則無料によりワクチン接種を実施する方針です。



**Q** 国保税の滞納世帯数と滞納総額は

**A** 29年度決算時で672世帯1億4777万円です

**問** 高すぎる国保税が払えずに滞納世帯が増えている。本市の加入世帯6500世帯のうち、滞納世帯数と滞納総額は

**答** 29年度決算時で672世帯、1億4777万円です。

**問** 国保の財政調整基金は6億8千万円以上あり、高すぎる国保税の値下げに使用すべきでは

**答** 被保険者の高齢化による医療費増、国保広域化の影響を見極めながら、現行税率の維持のために

**問** 本市の国保税の滞納世帯は672世帯に1億4777万円です

**答** 本市の滞納世帯数は30.5%で1件当たり8万9千円です。この状況は、個別の要因による変動幅が大きいため、他自治体と比較すべき指標とは捉えていません。

**問** 市内小中学校へのエアコン設置の取り組みは

**答** 子どもたちの安全と健康のため、31年度に普通教室等に空調設備を設置する予定です。



**Q** 人口減少問題に対する取り組みは

**A** 市民の意向を把握し行政サービスを含め検討します

**問** 人口減少問題に対する取り組みは

**答** 人口減少がもたらす地方への影響は、高齢化と相まって大きな問題です。人口が減少することにより市場原理では成り立たない生活関連サービス産業の撤退や担い手、人材不足へも影響し地域の生活への影響、地域経済の縮小が懸念されます。

**問** 高年齢化による社会保障費の増加、公共施設やインフラの維持管理

**答** 本市は、豊かな自然があり、高等教育機関も抱える平均年齢の若い元気な市であると思います。今後は、高等教育機関との更なる連携を推進し、市の取り組みにも活かし、また、大学がある強みを企業や研究機関の誘致につなげていきたいと考えています。

**問** 県内における市の評価と市が担うべき役割は

**答** 本市は、豊かな自然があり、交通の結節点でもあり、高等教育機関も